

来年参院選

立民 兵庫に独自候補

枝野氏野党一本化は否定

立憲民主党の枝野幸男代表が23日、神戸を来訪し、同党県連の集会后に神戸新聞社の単独インタビューに応じた。枝野代表は来年の参院選で、改選数3の兵庫選挙区について独自候補を擁立する方針を明言した上で、「2人区以上で候補者の一本化はありえない」として国民民主党などの調整をしない考えを明らかにした。



「昨年の衆院選から立憲民主党に対する期待値の大きさは全く変わっていない」と話す枝野幸男代表。いずれも23日午後、神戸市中央区(撮影・大山伸一郎)

枝野代表は野党連携について「参院選の1人区ではすみ分けをし、反自公の力を結集させる」とし、一定の候補者調整をする考えを示した。ただ、2人区以上は明確に否定。兵庫選挙区について「結果的に維新に代わって議席を取ることを目指す構造だが、維新だけを意識する戦い方は考えていない」とし、自公だけでなく他の野党とも切磋琢磨

して議席を狙う姿勢を示した。

来年の参院選では各党が候補を擁立。枝野代表は「地元から早く決めてほしい」という声をもらっているが、愛知や東京でも候補者を決めていない状況だ。しっかりと勝てる候補を擁立するため県連と今後相談してい



兵庫県連の集会で支持者らに語りかける枝野代表(壇上中央)

く」と説明し、「基本的に女性候補を探している」とも話した。

選挙戦略について「重点区の選択と集中に加え、有権者、特に潜在的支持層が何を考えているかを感じる」重要性を強調。「みんなモヤモヤ感の中にいる。これじゃないの、と右を投げると昨年の結党時のように輪が広がる可能性がある」と意気込みを述べた。

この日、神戸市中央区で開かれた「パートナーズ大集会」には支援者ら約340人が参加した。枝野代表は講演のほか、参加者が数人ずつに分かれて議論する「バスセッション」にも加わり、ユニークな政策提案などに耳を傾けていた。

(霍見真一郎)